

事業計画書及び収支見積書（様式１）

年 月 日 現在作成

１－１．事業の全体計画（業務を行う時間、従業員数、休業日、扱う車種（乗用車、大型車）を含む。）

引取業者及びフロン類回収業者（〇〇商会等）から引取りを行なった使用済自動車（乗用車及び大型車）を解体し、有用部品（エンジン、ドア、バンパー等）を回収し、中古部品業者及び金属商等に売却する。

解体作業に伴い発生した廃プラスチック類については産業廃棄物処分業者に委託し破砕処分する。

解体自動車については、株〇〇（破砕業者）に引渡を行なう。

業務時間	8：00～17：00	従業員数	3 人	休業日	日曜日・祝祭日
------	------------	------	-----	-----	---------

１－２．使用済自動車等の引取実績及び計画

年 度	30年度実績 (3年前)	1 年度実績 (2年前)	2 年度実績 (1年前)	許 可 取 得 後 の 年 間 計 画
引 取 台 数	4 8 0 台	5 1 0 台	5 0 0 台	7 0 0 台
主な引取先	○×販売(株) 〇〇自工(株)	○×販売(株) 〇〇自工(株)	○×販売(株) 〇〇自工(株)	○×販売(株) 〇〇自工(株)

１－３．解体実績（乗用車）

年 度	30年度実績 (3年前)	1 年度実績 (2年前)	2 年度実績 (1年前)
年間処理実績	4 8 0 台	5 0 0 台	5 1 0 台
年間稼働日数	2 4 0 日	2 4 0 日	2 2 0 日
平均処理実績	2 台/日	2. 1 台/日	2. 3 台/日

１－４．解体能力

1 日当処理能力	年間稼働予定日数	年 間 処 理 能 力
3 台/日	2 8 0 日	8 4 0 台

１－５．保管の状況

使 用 済 自 動 車 (解 体 前)		解 体 自 動 車 (解 体 後)	
保管量の上限	5 0 台 (4 0 台)	保管量の上限	0 台 (0 台)
現在保管量	4 0 台 (3 0 台)	現在保管量	0 台 (0 台)

※事業所以外の場所で保管している場合は、その台数を内数で（ ）に記入すること